

01 鳴門市庁舎

鳴門に息づく 正統派モダニズム

所在地：鳴門市撫養町南浜字東浜170

用途：庁舎
設計：増田友也・京都大学増田研究室
建築研究協会一級建築士事務所
施工：清水建設 他
竣工：1961年～1963年
構造・規模：(市民会館)S造+RC造
地上2階 2,084㎡
(市庁舎)SRC造
地上3階 3,931㎡

HOME PAGE



撮影：米津 光



撮影：米津 光

鳴門に現存する19の増田建築の最初の作品。各施設を2階レベルで繋ぎ面的な広がりを持たせるペDESTリアンデッキが建築と外部環境に独自の間合いを作る。築後50数年を経て今なお現役で活躍する建築が、機能や利便性だけでは図れない精神性、力強さを感じさせる。

02 鳴門市立第二中学校

ルーバーが奏でる光と影のハーモニー

口の字型の平面構成で、正面玄関のピロティをくくると各教室をつなぐ中庭が現れる。端正なルーバーで構成された外観は周囲の山々に映え、ルーバー越しの柔らかな光が鳴門海峡の海風とともに室内を満たす。クールな印象とは裏腹に地域の人々に愛され、使い継がれてゆく。



撮影：米津 光

HOME PAGE



所在地：鳴門市撫養町立岩字内田150

用途：中学校
設計：増田友也・京都大学増田研究室 生活環境研究所
施工：大進建設
竣工：1978年
構造・規模：RC造 地上4階 4,715㎡



撮影：米津 光



撮影：米津 光

03 松茂町第二体育館

多層な皮膜をまとった混構造の体育館

緑と畑に囲まれた混構造の体育館。コンクリート柱、木柱、鉄骨柱のレイヤが重なりながら軽やかな皮膜を構成する。全周に配されたハイサイドライトとともに、内外の領域をあいまいにし、心地よい風が吹き抜ける。

所在地：板野郡松茂町中喜来字群恵312-5

用途：体育館
設計：竹原義二・無有建築工房
施工：西松建設
竣工：2005年
構造・規模：RC造+S造+W造 地上1階 1,691㎡



撮影：絹巻 登



撮影：絹巻 登



撮影：絹巻 登

04 ビーンスターク保育園とくしま

撮影：米津 光



四季を呼吸する保育園

所在地：徳島市川内町平石夷野224-16

用途：保育園
設計：内野輝明・内野設計
施工：亀井組
竣工：2011年
構造・規模：S造 地上1階 930㎡



撮影：米津 光

製菓会社の工場群の中に建つ事業所内保育所。外部と内部の中間的存在のホールを中心に、子どもが手足を広げて躍動する姿を思わせる全体構成。保育室等とサポート空間を交互に配置して各室の陽光、通気などの環境を均質化。ホールを中心とした放射状の動きと、円環の動きが建築全体を活性化している。